

準備万全でマチルダに 挑む美しきお嬢さん♡

今回でマチルダパーティーの最終回。「もう1回書いてもいい？」と担当の紺野さんに申し上げたら、「セクシー写真があるならOK! 読者サービス」との提案を受け、今回そのマチルダパーティーでの写真を載せることにした。みなさん、うら若き娘たちのセクシーマチルダ衣装をご堪能あれ。

で、女性のなんとも愛らしいのはこのパーティーのために周到に「準備」をしていくところ。男なんてヒゲ剃ってシャツをクリーニング店ま

でとりに行ってくれば終了だけど、女性は1カ月以上前からダイエットに励み、丹念に美肌ケアをし、そして衣装を揃える。真紅の紅、マニキュア、網タイツ、黒ワンプを探し探し探して見つけてきて、試しに塗って、

着てみる。鏡に映った姿を見ながらああでもない、こうでもないと言いながら手持ちのグッズを合わせてみる。そして衣装が決まったら今度は美容院に行き髪をマチルダ仕様に整え、ネイルサロンに行つて爪の甘皮の手入れしてもらおう。

こういうところが、女性の可愛さなんだろうなあ。

さて、このマチルダパーティー、唯一欠点が……。それは毎年12月最初の土曜日が聖マチルダの日だが、実は生のトマトが無いということ。これまででは夏の間にはシコシコとマチルダ・ルブアルハリ（マチルダのセミドライトマト。商品化し販売中。商

標登録済。ネーミングについては文末参照）を作つて冷凍、さらには湯むきしてトマトソース作つて冷凍、これでなんとか凌いできたが、「旬の時期にやったらいいんじゃないの？」の声が抑えきれなくなつてき

第7回

マチルダパーティーで酒池肉林!? (後編)

農業経営者の特権、それは美味しい食材に確実にありつけることではないか。

だが、普段は案外見逃されがちなのこのことに気付けば、

もっと農業が楽しくなるかもしれない――。

農業界きつての美食家!?! 鹿嶋パラダイス・唐澤秀が語る、

農業と食の可能性とは。

住めば都

た。そんなわけで「マチルダパーティー夏の陣」を今年には実行しようかなと。夏フェスみたいな感じで。

さて、気になるのがそのドレスコード。おそらく参加者の方たちは、旨いトマトを片っ端から「食い



男性読者垂涎!? マチルダパーティの 女性たち



1辺7mmの網タイツ、真紅の紅(あえて「ベニ」)、真紅のマニキュア、ペディキュア、黒色のワンピースが女性のドレスコード(服装指定)。来年からは、網目から除く真紅のペディキュアがしっかりと見えるようパンプス必須(先の開いたヒールでないとなかなか履いてきてくれない)を追加予定。というのも、靴の先から親指、人差し指、中指、薬指の半分くらいが7mm方眼の網目から覗いている感じ、これがね、これがたまらんとですっ!!

「この世に男性として産まれてきてよかかった!!(涙)」「この世に女性として産まれてきてよかかったわ♡」
 さて、夏のマチルダの衣装!?!
 言わずもがな、そんな衣装で来ちゃいますかね……みたいになる予定。
 そして実行委員長はこの私であり、妄想する権限がすべて私にあることを女性陣、いや読者の皆さんは分かっておられるだろうか? 男性陣はたまらんですね(ウホホ)。

「この世に男性として産まれてきてよかかった!!(涙)」「この世に女性として産まれてきてよかかったわ♡」
 こんなふうには、自分自身に心酔してもらおうのもこのコスプレ、いやいやドレスコードありのマチルダパーティの醍醐味だったりするのだ。
 綺麗な海と砂浜があるところがいいなあ……。

※マチルダ・ルブアルハリとは
 マチルダの父方ルーツは中東の遊牧民にあり、砂漠⇨乾燥⇨ドライという設定で、セミドライトマトの名前にした。ちなみにルブアルハリとはアラビア半島にある砂漠の名前

耕せば楽園

唐澤 秀

からさわ・しゅう●1976年静岡県浜松市生まれ。明治大学農学部卒業後、1年間の就職浪人を経て2000年(有)農業生産法人茨城白菜栽培組合入社。ハクサイの生産から出荷までのマネジメント業務全般に携わる。08年同社を退社し、独立。屋号を「鹿嶋パラダイス」とする。全品目において無農薬、無肥料の自然栽培を行なっている。水田1.2ha、ハウス10a、露地5ha。今春には鹿嶋参道に直営飲食店「楽田家」をオープン。
<http://kashima-paradise.com/>